

KBI NEWS

〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL : 0743-70-8600
 FAX : 0743-70-8601
 編集・発行人：大田裕作
 郵便振替：01140-6-67708
 銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453
 Eメールアドレス：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ：http://www.kbiwave.com



わたしの喜び

FCMF 宣教師
 KBI スタッフ
 トーヴェ・ボルヨソン
 宣教師



一九八八年、はじめて日本に
 来ました。その時はここで三十
 年間を過ごすことになると思
 像もしませんでした。三十年間
 と聞くと長いと感じられるかも
 しれませんが、私にとつては
 あつという間でした。この三十
 年の間にたくさんの人に出会
 い、良い影響をいっぱい受けま

した。私からも少しでも良い影
 響を与えることができていたな
 ら嬉しいですよ。
共に笑い、共に泣き

KBIでの生活は十年でした
 が、特に、KBI生から色々学
 ばせてもらいました。KBI生
 は様々な環境、様々な教会、様々
 な社会経験など異なる背景から
 来ています。彼らの中に自分自
 身を見るようなときもありまし
 たし、一緒に生活する中で自分
 のことも教えられました。共に
 笑い、共に泣き、神の御手の中
 で、みことばによって変えられ
 ていく姿を見ることは大きな喜
 びでしたし、自分もまた変えら
 れていきました。

二つの喜び

ノルウエーに帰国する前に、
 KBIニュースの原稿を書いて
 欲しいと頼まれた時、「何を書
 こうかな。何を書くべきかな。」
 と悩みました。日本で印象深
 かったこと、私の喜びであった
 ことは何かと考えてみると、や
 はり、人を救いに導く祈りをす
 る機会が与えられたことです。
 そのような機会がもっと多くあ

れば良かったのにも思いま
 す。

卒業・修了生が喜びをもって
 主に仕えている姿を見ること
 も、私にとつてのもう一つの大
 きな喜びです。「母親」のよう
 な気持ちで、彼らを見守り、自
 分のこと以上にその姿を喜んで
 います。「私の子どもたちが真
 理に歩んでいることを聞くこと
 ほど、私にとつて大きな喜びは
 ありません。」(Ⅲヨハネ一章四
 節)のみことばと同じ気持ちで
 す。

KBI生と卒業・修了生を含
 めてすべての献身者がしつかり
 と真理に歩み続け、神の光の中
 を歩み続けることを何よりも期
 待し、祈っています。

宣教師として母国へ

七月にはノルウエーに本帰国
 する予定です。帰国しても、私
 の「宣教師」という召しと心は
 変わりません。ただ働く畑が変
 わるだけです。これを読む皆さ
 んにお願いがあります。ノル
 ウエーと、ノルウエーの人々の
 救いのために祈って下さい。そ
 して、日本からもノルウエーに
 宣教師を送って下さい。また、
 短期でもぜひ訪問に来てくださ
 い。ノルウエーでお待ちしてお
 ります！私もノルウエーから日
 本のために祈り続けます。

未墾の大地に鋤を振る

「日本人の精神の深層」
(松岡広和師)を受講して

三年 山崎 琴葉

「仏教を排除することは、日本を排除することである」―日本文化の中で福音を届けるために仏教を理解するということは、私にとって貴重な学びの時となりました。

仏教はその時代と人々の必要に応じて変化してきました。本来の教えは複雑化し、経典は創作され、他宗教と混ざり合い、その時代にふさわしい教えだけが選択されてきました。だからこそ受け入れられやすく、敬われるべきものとなったのでしよう。一方福音は二千年間変わりません。変えてはならない神の



松岡広和師

真実です。そして、仏教は神に至るための人間の絶え間ない努力であるのに対し、福音は一方的に神から与えられた恵みの道です。私たちがなすべきことはこれを受け取ることだけです。ハレルヤ！

日本には、仏教の精神を文化に含み、優しさも知識も豊かでありながらも、心が満たされない人々が多くいます。福音しか解決はありません。この福音の本質は変えず、日本人に受け入れやすく伝える柔軟さが大切です。この世界最大級の未伝部族である日本で、福音を待っている人々に届けていきたい。

Go into the World!

「CONNNECT」つながりを受講して

一年 岸 幹子

昨年十二月に娘が天に召された後、娘の学校の先生や友達のお母さん達が、よく私達夫婦の家に来てくれるようになりました。これは必ず神様が何か計画されていると感じていましたが、

何をどのようにしていけば良いのか分かりませんでした。そしてテーマを見て参加を決めた訳ではなかった三週間コースの今年のテーマがConnect(いかに人と出会い福音をつなげるか)だと知った時、本当に神様がこれを強く私達に望まれていると確信し、涙が溢れました。

授業で、まず私達が周りの人達に寄り添い、経験や話に関心をもち一生懸命聞いてあげる事がConnectの鍵だと先生が教えて下さいました。私の中で「伝道」は、こちらから福音を語らなければいけないという難しいイメージがありました。実はこちらから先に語るのではなく、相手に耳を傾け、心の必要を満たしていくことで、神様の愛を表し、流していくことであると学びました。この授業で学んだことをこれから実践していくと決心しました。



夫婦で捧げる賛美

三週間コースの証

一年 川口 竜太



作業でタケノコ掘り

スポーツを通してキリストを伝えたいと思い、二十代はスポーツの現場に出て駆け抜けました。しかし、日曜礼拝がなかなか守れず、自分の信仰に不安を覚えている中でKBIに導かれました。様々なクリスチャンの方々と祈り、励まし合う中で、自分のしてきたことは間違っていたと確信しました。特に、大田先生の説教はあたかも自分に語っているかのようにでした。

「聖書は台本だ。だから演じなければ意味がない。」

「二人ひとり違う個性こそ祝福だ。枠から出ていきなさい。」

この三週間で恵みの充電はMAXになりました。ここから生かされている命を全力で注いでいきます！

三週間コースの証

一年 浜原 小百合

ぼんやりとした意識の中、雨の音を聞いていました。KBIに来る日の朝、私は布団を顎までかけ、気怠さに浸っていました。物心がついた頃にはクリスマスチャンドった私は、信仰とは何かということに悩み、教会には通っていたものの不安定な土台に立っていました。ゼロか百でありたいのに、十五くらいの温度で礼拝していることに葛藤がありました。そんな私がKBIに来る朝、家にいたいという気持ちに負けず、玄関を出られたのは、ただ主の恵みです。来て早々に「みんな、目がき



フェアウェルパーティー



大田先生の説教 賛美集会にて

れいやなあ」と思いました。温かく柔らかな雰囲気にも包まれ、とにかく毎日が楽しかったです。感謝なことに、入寮から五日目のKBI神学の中で、私は新しくされました。大田先生のメッセージを通して、主はずっと呼びかけて下さっていたのに、私が応答しないでいたことに目が開かれました。気がつく、「イエス様、ごめんなさい。信じてみえます」と祈っていました。涙が止まりませんでした。今、私は百の熱量で主に仕える者とされたことが嬉しいのです。虚しさや孤独は消え去り、主の恵みと平安のうちに生かされています。皆様のお祈りに心から感謝します。

●二〇一八年度 入学生●

三週間バイブルコース

今福義明 (ヒルズチャーチ)

笠原浩和 (京都ベタニヤチャーチ)

川口竜太 (幸町キリスト教会)

北坂信頼 (大津バプテスト教会)

権赫星 (大阪ホーリネス教会)

立山陽介 (シオンライフチャーチ)

福嶋弘二 (南大阪福音教会)

ヤコブ・スリウイチャビヨ

(須磨自由キリスト教会)

小高理榮 (峰町キリスト教会)

笠原ナミ子 (京都ベタニヤチャーチ)

岸幹子 (須磨自由キリスト教会)

浜原小百合 (金沢こころチャペル)

本科コース

李勝煥 (マラナ・タ・チャーチ)

岩佐光 (八木山聖書バプテスト教会)

太田楽人 (ゴスペルシロアム教会)

豊村恵悟 (上郡福音教会)

山田愛也 (横須賀クリスチャンセンター)

山中力 (広畑キリスト教会)

上迫みどり (鶴見純福音教会)

笠原芳恵 (京都ベタニヤチャーチ)

柏崎静子 (峰町キリスト教会)

亀代恵 (大阪神愛福音教会)

河村めぐみ (シオンライフチャーチ)

深谷さおり (岡崎ホープチャペル)

柳本朝希 (多聞福音教会)

山本静華 (南大阪福音教会)

CPRCコース

片桐修 (喬木教会)

加藤三千生 (鈴鹿キリスト福音教会)

中村典子 (グッドサマリタンチャーチ)

朴恩姫 (大阪聖光教会)

森枝真実 (南大阪福音教会)

山本真莉子 (新旭キリスト栄光教会)

渡辺とも子 (川崎キリスト教会)



遠足にて

入学の証

一年 深谷 さおり



幼い頃に、全力を尽くしてくださった牧師先生や日曜学校の先生たちの愛のある姿から、大きくなったら主のために生きていきたい、という願いをずっともっていました。自分が高校生どききに体験した神様の愛の大きさを教会の高校生にも味わってほしいと願うようになりまし。私が高校生の時に、日曜学校で教えていた小学生たちが信仰をもち、神様の恵みの中で成長しているのを目の当たりにしました。神様のご計画の素晴らしさを実感し、もっとこの働き

がしたいと強く思われました。そして、大学に入ってからは、K G K (キリスト者学生会) に参加し、大学内での伝道に励みました。他大学の聖書研究や祈禱会に参加して励まし合い、神様との出会いの場を作っていました。

K G K の全国規模の合宿のときに、ルカ五章から神様に応答することについて語られました。私は今まで、自分の手が届く範囲で神様に仕えられたら十分だと思っていました。しかし、「深みに漕ぎ出して」と神様が私に教えてくれました。居心地の良い場所で神様をほめたたえていくことは簡単ですが、神様が私に願っているのはそうではないことを知りました。「おことばどおり」に従っていきたくて強く願わされ、祈っていると、「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもつて、神の栄光を現しなさい。」(1コリント六章二十節)という御言葉が与えられました。よく不安がってしまう私に深みに漕ぎ出すための勇気を与えてくださったので、入学を決意することができました。

入学の証

一年 山田 愛也



私は高校生の時に召しが与えられました。すぐに神学校へ行くべきか、周りの牧師と相談し、祈った結果、社会経験を積んでから神学校へ行くことにしました。

社会人になり、夢であった保育士を続けていく中で、数えきれない程の保育の大切さに触れ、保育という仕事により一層誇りを持つようになりました。その反面、心にあつた献身の思いが徐々に薄れ始め、献身について向き合うのを拒んでいました。そんな中、今年の新年聖会で

自然と献身について祈るよう示されました。数日後、不思議と入学のお金も与えられました。経済的な面でも不安を感じていたので、主が今導いているのではないかと思ひ、より献身について祈るようになりました。環境も経済面も道が整えられていきました。私は人生を捧げる決心がつきませんでした。自分の人生だからこそ、自分の思う将来を掴み取っていきたくて思ひ続けていました。しかし、祈りつつ自分の人生を振り返ると、牧師家庭に生まれたこと、大学に通わせてもらったこと、夢であった保育士になれたことなど、一つひとつが私に与えられた神様からの最高の計画であると思ひ知りました。過去も今もいつもそばにいてくださり、愛してくださる主に生かされているという恵みに気付いた時に、私はこの方に従い、人生を捧げようと決心することができました。

私に与えられた献身の御言葉は「ここに、私がおります。私を遣わしてください。」(イザヤ書六章八節)です。主に与えられたこの人生を、主の為に喜んで捧げ、仕えていきたいと願っています。



新 こうやって学んでいます

三年 斎藤友良

Question?

KBIは全寮制ですが、一番印象深い出来事は何でしょうか？

私が一番思い出深い出来事は、一年生の時に、自分より年下の先輩の方と正面衝突したことです。一つの誤解があつて、先輩としての「こうだ!」という意見に対して、私も「え?そんなことないですよ!」とぶつかることがありました。私が「先輩は立てなきゃ」と思い謝ると、「それ本当に心から思っていないでしょ。不誠実だよ。」と返り討ちにあいました。しかし、その言葉で、私の心の内側の高慢さを神様に照らされました。そうしたら、先輩も神様に語られていて、次の日に二人で泣きながら



学生同士の交わりの風景

謝り、折り合いました。後日、実は誤解があつたことがわかったり、どちらが悪いという話ではなかったんですが、そこから学年や年齢を超えた、主にある良い交わりが始まりました。まさに「鉄は鉄によって、人はその友によって研がれる」というやつです。(笑)

現場に出て行ったときに、自分一人ではやっていけないように思います。大変な時に祈り、実際の支えてくれる、そういった仲間同士の絆ができるのはKBIならではのと思っています。

Question?

ぶつかるのが怖い、難しいと感じることはありませんか？

「ぶつかる」というと、びつくりされる強い表現ですが、要は建前でなく本音で分かち合うことだと思っています。自分が心を開いていないと相手も心を開いてくれません。難しいですが、そういった機微を実生活を通して経験していくことで、現場に出たときにどう人とコミュニケーションを取れば良いのかという、塩梅みたいなものが肌で学べます。KBIの中には色んな人がいて、実際合わない人もいることが自分にとっては感謝です。生身の人とどう向き合っていくか、それが一番の勉強なのかな、と思っています。



新

こうやって仕えています



ジーザスフェローシップ広島にて

ジーザスフェローシップ広島伝道師
タラントネットワーク(株)
代表取締役
二〇一五年度卒業生 辻和希師

私は二〇一六年三月にKBIを卒業し、現在は母教会で伝道師として仕えながら、株式会社代表取締役をしています。

KBIに入学する前に、認可外の保育園を同世代の仲間と立ち上げたのですが、昨年の四月に広島市から認可へ移行することを勧められました。認可への道のりは険しいものでしたが、神様の御心だと信じて進んでい

くことを決断し、最初に行動したのが会社の設立でした。教会のために本格的な収益事業をする会社としたいと強く示されたからです。あらゆる賜物が主のために用いられることを願い、「タラントネットワーク株式会社」という社名にしました。その願いを主は聞き入れてくださったのか、保育園事業のみならず、以前から考えていた、お好み焼き屋開店に必要な場所と資金も与えられました。私は、これを地に隠すこともできず、主の事業だと信じて思い



教会学校の風景

切つて開店することを決断しました。それから、不思議な導きにより、広島の有名店で三ヶ月修行させてもらい、十月に「お好み焼き祝」をオープンするに至りました。主はこれだけではなく、内装工事を得意とする仲間を与えてくださり、建設事業の道、更に音楽事業の道も開かれ、二〇一六年のKBI CDの完全版を現在手掛けさせて頂いています。そしてこの四月にはついに当初の目的であった認可保育園がスタートしました。会社設立時からずっと掲げてきたことは、自分を含めた同世代の働き人を支えること、教会を経済的に支えることでした。その両方が主の恵みと導きによって現実に実りとなつていくことを心から感謝いたします。



●週末奉仕教会 ●(母教会は除く)
一年生

岩佐光 (箕面福音教会)

太田楽人 (千代田福音教会)

山田愛也 (ヒルズチャーチ)

上迫みどり (八尾南福音教会)

柏崎静子 (泉南福音教会)

笠原芳恵 (ベテル清水教会)

河村めぐみ (須磨自由キリスト教会)

深谷さおり (堺シオン福音教会)

二年生

有馬陽介 (名古屋グレイスキリスト教会)

石川良治 (雲井キリスト教会)

洪沢宝 (狭山福音教会)

森勇喜 (ライフソングチャーチ)

齋藤志帆 (川西福音教会)

饒平名真実 (ジーザスハウスチャーチ)

三年生

斎藤友良 (ビーワン大阪キリスト教会)

羅泰日 (北鈴蘭台教会)

廣瀬開 (チャペル犬山)

山田成也 (奈良福音教会)

饒平名基喜 (犬山キリスト純福音教会)

岩井輝子 (ゴスペルチャーチ千里)

長谷川みちる (高砂教会)

山崎琴葉 (野崎キリスト教会)

吉田ゆり (関西カルバリーフェロシップ)

ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2018.2.21～5.25）（KBIへの直接献金分）

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人：安黒務、伊達山洋子、黄金井尚美、斎藤邦夫、兼松道子、ウーヴェ・アンベッケン、岩本美保、豊村善典、石崎政登、安野清子、秋元清友、田中憲昭、増永弘、高橋昭市、井野葉由美、山口美恵子、南澤順子、藤井光顕・友子、福元玲子、大田裕作、兼松千佳子、鷗野英子、門谷皖一、小崎淳広、福沢正章、山田裕一、渡辺とも子、山本篤、大和田徳伊・愛子、真島義典、石賀満、一箭まり子、浜原昭仁、服部守一、ヨルゲンソン、大草美貞

教会 & 団体：京都シオンの丘キリスト教会、旭川神愛キリスト教会、狭山福音教会、八尾南福音教会、奈良福音教会、鈴鹿キリスト福音教会、チャペル犬山、大阪キリスト栄光教会、尾上聖愛教会、千代田福音教会、堺福音教会、伊勢崎神愛キリスト教会、可児福音教会、カナン・ブレイズ・チャーチ、喬木教会

<運営支援献金>

鶴見純福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、岐阜純福音大森チャーチ、ジャパン・ベサニー・ミッション、保土ヶ谷純福音教会、KBI支援協力会（FCMF諸教会）、美濃グレースチャーチ

1. 建設基金献金

個人：春名裕、後山慎治、小崎淳広

教会 & 団体：岐阜純福音教会、伊勢崎神愛キリスト教会、秦野クリスチャンセンター

2. その他（指定献金含む）

個人：一箭真理子、久保献一、藤井光顕・友子、小崎淳広、渡辺とも子、後山慎治

教会 & 団体：大阪みなのコミュニティチャペル、垂水福音教会

■奨学基金献金

個人：出原市子、芝蓮代、竹川正英、菅沼威、大和田徳伊・愛子、森本裕・真美子、轟節雄

教会 & 団体：チャペル犬山、西可児キリスト教会、高砂教会、伊勢崎神愛キリスト教会、横須賀クリスチャンセンター

お詫びと訂正

前号にて奨学基金献金欄のお名前に誤りがありました。「菅原威」様ではなく「菅沼威」様でした。

お詫びして訂正いたします。

※ 2018年度より「建設基金基金献金」は一般会計の特別献金に移行いたします。

※ KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金して下さっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

2017年度 KBI 会計報告

(2017.4.1～2018.3.31)

①一般会計	(収入)	KBIを支える会献金	3,303,046	(支出)	維持管理費	9,553,282
		支援団体献金	15,831,854		経営費	12,350,316
		特別献金	2,752,123		人件費	18,933,008
		学生維持献金他	21,795,778		建設会計への繰入金	3,000,000
		前年度繰越金	4,692,231		教師育成助成金	500,000
		収入合計	48,375,032		退職金引当金	1,000,000
					次年度繰越金	3,038,426
					支出合計	48,375,032
②建設会計	(収入)	特別献金	254,000	(支出)	各種対策工事費	—
		資産管理収入(維持献金含む)	5,137,845		施設利用維持管理費	504,025
		一般会計からの繰入金	3,000,000		修繕積立金	8,000,000
		前年度繰越金	206,935		次年度繰越金	94,755
		収入合計	8,598,780		支出合計	8,598,780
③奨学基金	(収入)	奨学基金献金	856,000	(支出)	奨学金支給	959,180
		前年度繰越金	3,269,773		次年度繰越金	3,186,073
		収入合計	4,089,773		支出合計	4,145,253

KBI生が、SNSをはじめました。

フォロー・いいね!で
応援よろしくお願い致します。

- ・生徒達の日常の雰囲気
- ・授業風景
- ・オリジナル賛美 etc...

随時更新予定!!



Instagram



@kbi_jpn



Facebook



「KBI 関西聖書学院」
で検索



Twitter



@kbi_jpn



OB・OG通信

《高橋めぐみ師就任》

昨年十月末にインドネシアより帰国し、四月よりKBIでご奉仕させていただくことになりました。世界宣教のゴールに向かつて、聖霊の声に聞き従って仕えていきたいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○結婚おめでとうございます。

二月二日
伊藤康弘兄、金子智恵姉と
三月二日
藤井光顕兄、後山友子姉と

《就任式》

四月二九日
菅原道夫師 牧師就任式
小松南部キリスト教会

●植栽感謝!! 市木玉江姉(八尾福音教会)が季節ごとに、お花を持参して正門の花壇を手入れくださっています。

●二〇一八年度学生テーマ聖句
「それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。」

●二〇一八年度 行事予定
ヨハネの福音書十三章十四節
十二学期始業
九月四日(火)



十二学期終了

一〇月二日(火)～五日(金)

十一学期始業

一〇月九日(火)～一二日(金)

十前期始業

一〇月一六日(火)

十KBIを覚える日

十一月一日(土)～二日(日)

十二期終了

十一月七日(金)

十三期始業

一月八日(火)

十後期テスト

二月五日(火)～八日(金)

十三年生アウトリーチ

二月初旬(予定)

十卒業派遣式

三月七日(木)